



2021年4月26日

各位

会社名 日立金属株式会社  
 代表者名 執行役会長 兼 執行役社長  
 西山 光秋  
 (コード番号 5486 東証第一部)  
 問い合わせ先 コミュニケーション部長 坪内 泉  
 (TEL. 03-6774-3077)

当社の親会社 株式会社日立製作所  
 代表者名 執行役社長兼CEO 東原 敏昭  
 (コード番号 6501 東・名)

### 連結業績予想と実績値の差異および個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年1月28日に公表の2021年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、2021年3月期の個別業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績(IFRS)予想との差異

	売上収益	調整後 営業利益*	営業利益	親会社株主に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年1月28日公表)	750,000	△10,000	—	△46,000	△107.59
実績 (B)	761,615	△4,977	△49,213	△42,285	△98.90
増減額 (B)－(A)	11,615	5,023	—	3,715	—
増減率 (%)	1.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2020年3月期	881,402	14,383	△39,126	△37,648	△88.05

\* 事業再編等の影響を排除した経営の実態を表示するため、営業利益からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益を記載しています。調整後営業利益は、当社の親会社である日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標です。

#### (差異の理由)

売上収益は、第4四半期連結会計期間に想定を上回る需要の回復があったことに加え、原材料価格上昇(価格スライド制)や為替が想定よりも円安傾向で推移したことにより、前回発表予想を上回りました。調整後営業利益は、売上収益の増加と操業度の改善により、前回発表予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期利益は、調整後営業利益の改善により、前回発表予想を上回りました。

#### 2. 2021年3月期通期個別業績の前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) (2020年3月期)	471,933	△10,159	1,258	△18,622	△43.55
実績 (B)	409,931	△17,052	△3,600	△8,975	△20.99
増減額 (B)－(A)	△62,002	△6,893	△4,858	9,647	—
増減率 (%)	△13.1%	—	—	—	—

(差異の理由)

売上高は、COVID-19 の影響で需要が減少したこと等により、減少しました。営業利益は、固定費削減を進めたものの、売上高の減少による影響に加え、生産調整をおこなったこと等により、減少しました。経常利益は、為替差益等が前期比で増加したものの、営業利益減少の影響により、減少しました。当期純利益は、関係会社株式売却益の特別利益計上により増加しました。

以上